

軽井沢インバウンドビジョン

サステイナブルなリゾート地を目指す

～インバウンド戦略とオーバーツーリズムとの調和～

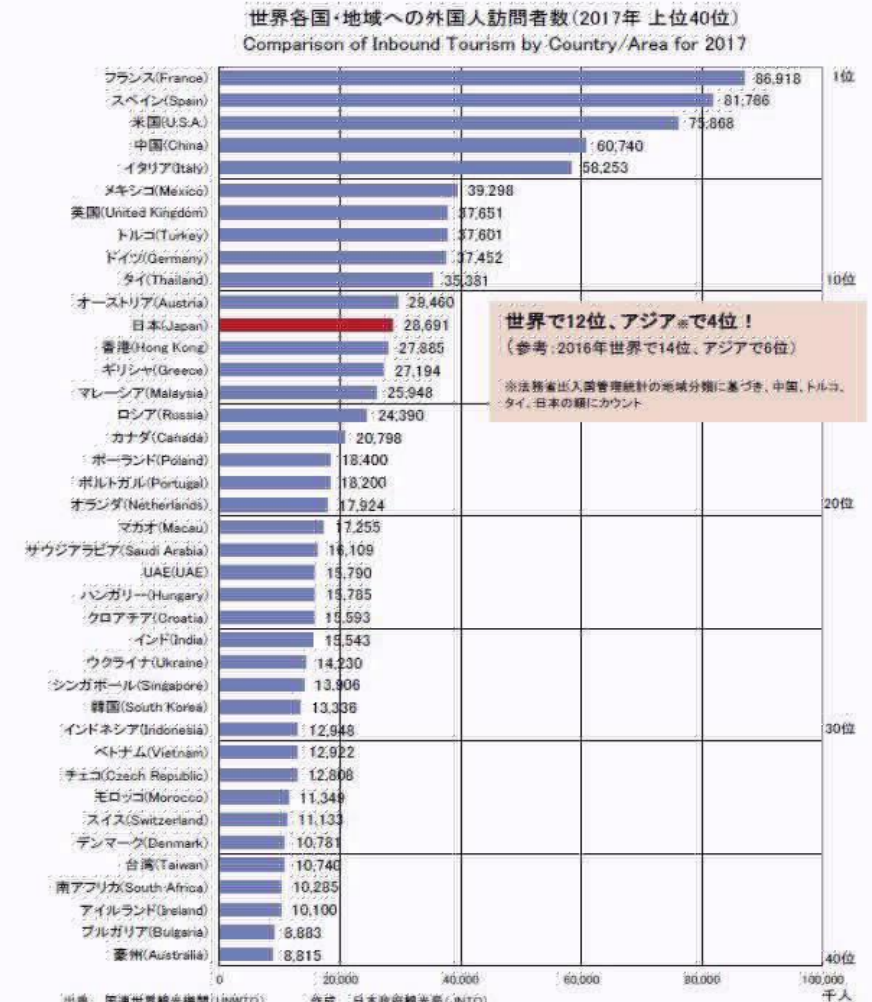
軽 井 沢 町
一般社団法人軽井沢観光協会

目次

1. はじめに	P 2
2. インバウンド推進の意義	P 5
3. オーバーツーリズムの回避	P 6
4. これまでの経過	P 7
5. 今までの成果	P 9
6. 今後の取組み	P 13
7. インバウンド推進の効果	P 23

1. はじめに 1-1 国の動き

少子高齢化が進む日本は、経済を支えるために、外国人旅行者による収入は重要な役割を担っている。日本国内を旅行中に宿泊、飲食、体験ツアー等でお金を使うことによる国内消費効果を期待している



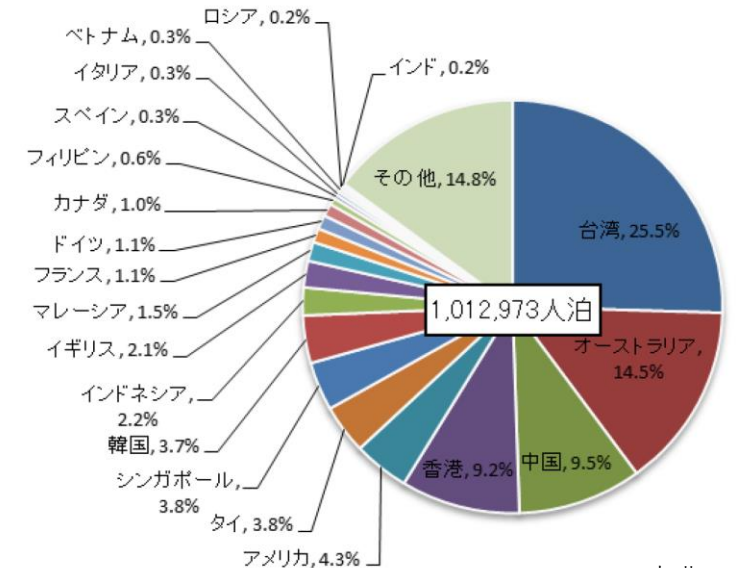
出典: 国際観光統計機関(UNWTO) 作成: 日本政府観光局(JNTO)
注1: 本表の数は2018年8月時点の暫定値である。
注2: 米国、ポルトガル、チェコ、デンマーク、アイルランドについては2017年数値が公表されていないため、2016年の数値を採用した。
注3: 本表で採用した数値は、日本、ロシア、韓国、ベトナム、台湾、豪州を除き、原則的に1泊以上した外国人訪問者数である。
注4: 外国人訪問者数は、数値が違っても新たに発表されたり、さかのぼって更新されることがあるため、数値の採用時期によって、その順位が変動する。
注5: 外国人訪問者数は、各国・地域ごとに日本とは異なる統計基準により算出・公表されている場合があるため、これを比較する際には注意を要する。
Source: UNWTO / Compilation: Japan National Tourism Organization (JNTO)

1-2 県の動き

“世界を魅了する観光地域づくり”を目指し、外国人旅行者のニーズに合った旅行商品の造成・提供、戦略的な海外プロモーションの展開等のインバウンド施策をオール長野でスピード感をもって実施する体制を整えるため、「長野県インバウンド推進協議会」を設立し、世界を魅了するNAGANO、世界から選ばれるNAGANOを目指している



図ー1 国・地域別延宿泊者数割合



出典：長野県

1-3 町の動き

国の施策同様、人口減少に対応する為、交流人口を増やすことにより、町内の消費効果を促進・持続



長期滞在型のリゾートを目的に、アクティビティの充実を図りながらサステイナブルなリゾート地を目指す



軽井沢のステイタスの持続



2. インバウンド推進の意義

- 人口減少に対応するには、外国人旅行者による交流人口を増やすことにより、町内に宿泊、飲食、体験ツアー等による消費効果を期待
- 町内の歴史文化を細かく調査することで、地元住民を巻き込みながら、眠っていた文化を発掘



経済の持続



3. オーバーツーリズムの回避

- 高原・保健休養地としての歴史と文化を守り、継続的な国際会議都市を目指す
- 渋滞解消の為、車両乗り入れ規制、新たな2次交通の検討、新たな名所の創出による観光客の分散・回遊を図る



地域環境の保全

**長期滞在型のサステイナブルなリゾート地を目指すには、
調和の取れた「経済の持続」と「地域環境の保全」が必要！**

4. これまでの経過 4-1 プロモーションの歴史

H11年（1999）東アジア、主に台湾と香港を中心に、民間主導で誘致活動を始める

H17年（2005）6月カナダ・ウィスラー市で観光パネル展

11月台湾にて軽井沢町のトップセールス

H19年（2007）台湾にて単独商談会を開催

H22年（2010）タイとシンガポールでの誘客を開始

H27年（2011）フィリピンでの誘客を開始

H28年（2016）G7交通大臣会合開催

H30年（2018）英国での情報配信を開始

R 1年（2019）G20エネルギーと環境大臣関係閣僚会合開催

R 1年（2019）カナダでの観光プロモーション、トップセールス開催

4-2 軽井沢町における外国人延宿泊者数の過去経過表

年	アジア	全体からの 比率	北米	欧州	オセアニア	その他	合計
H25	22,625	89.06%	685	207	236	1,652	25,405
H26	26,651	74.42%	1,996	714	402	6,048	35,811
H27	64,765	74.03%	1,443	950	439	19,891	87,488
H28	120,204	88.06%	1,763	830	916	12,784	136,497
H29	144,633	81.69%	1,856	829	1,083	28,654	177,055

H29年 国・地域の割合上位

1位：台湾43.9% 2位：香港19.0% 3位：中国9.4%

5. 今までの成果 5-1 現状

- 東アジア、東南アジアからの誘客は成熟市場となっている
 - アジア圏からの来訪者数が現状になるまでに20年かかっている
 - プロモーションしている地域は効果が出ている
- 香港・台湾から発信された情報により、中国大陆の富裕層から軽井沢が注目され始めている
- G7、G20をきっかけに認知度が上がり、結果として中山道などで欧米客を見かけるようになった

5-2 現在の取り組み

- インバウンド需要に対応すべく、外国人目線での魅力的な旅行商品の造成を広域観光で取り組んでいる
 - 長野県国際観光推進協議会(26県市町村)
 - 長野県インバウンド推進協議会(344法人団体)
 - 安中・富岡・軽井沢観光連携(2市1町)
 - 小諸・御代田・軽井沢連携(3市町)
 - しなの鉄道沿線観光協議会(47組織団体)
 - しなの鉄道広域インバウンド連絡会(7組織団体)
 - 長野県内主要都市アライアンス(長野市、松本市、上田市、軽井沢町)
- 町内各種団体との連携協力
 - 軽井沢町商工会、軽井沢旅館組合、軽井沢ホテル協会他

5-3 周辺自治体が迎える友好・姉妹都市提携先周年度

- 広域連携でインバウンド誘致に取り組むことが必要
- 周辺自治体連携において、各自治体の友好・姉妹都市提携先周年度を活用することが有効

市町	姉妹・友好提携先	提携年月日	備考
軽井沢町	ウィスラー市（カナダ）	1999年	2019年に20周年
上田市	ダボス町（スイス）	1976年	2021年に45周年
上田市	ブルームフィールド市郡（アメリカ コロラド州）	2001年	2021年に20周年
佐久市	サク市（エストニア）	2007年	2022年に15周年
松本市	ソルトレーク市（アメリカ ユタ州）	1958年	2023年に65周年
長野市	クリアウォーター市（アメリカ フロリダ州）	1959年	2024年に65周年

5-4 エコツーリズムの活用

- 地域を巻き込み、自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、町内環境の保全（＝軽井沢ステイタスの持続）につなげる仕組みづくり
- 地元で活動（歴史文化の研究）をしている団体との連携
（地元住民のガイド…素朴な対応に惹かれる）

6. 今後の取り組み 6-1 地域連携に要求されるもの

ユーザーの多様化に対応

- 欧米からの誘致も視野に入れ、受入れに必要な地域は広くなり、アジア圏とは違う価値を求められる
- 距離（軽井沢町外）を超えて、長期滞在に対応できる魅力が求められている

多種多様なアクティビティ等に対応

- 軽井沢周辺の観光資源の
アピール方法を工夫する
 - 自然を味わえるネイチャー
ツアー
 - 歴史的な景観を楽しむ観光
スポット
 - 世界で注目を集めている日本
酒を作るための酒造紹介

6-2 軽井沢町に要求されるもの

新たな名所の創成

- 回遊性を高める為の新たな名所の創成

(例)

- － 発地休耕田あぜ道 3 k m に及ぶ、桜のトンネルになる様に植栽
- － 湯川ふるさと公園、イヌクシユク周辺に町花サクラソウやレンゲツツジの住民参画による植栽
- － 紅葉の回廊



小布施文化観光協会提供



高崎市提供



6-3 スポーツツーリズムの継続

• スポーツ大会の継続

《国際大会》

- 男女国際テニス大会
- 国際カーリング大会 (ワールドカーリングツアー)
- 女子プロゴルフツアー

《国内大会》

- 各種スケート大会 (スピード、アイスホッケー、フィギュア)
- 各種スキー大会
- マラソン大会
- 自転車ロードレース大会 (グランfond軽井沢)
- サッカー大会
- フットサル大会
- 柔剣道大会
- バレーボールV2リーグ大会
- 卓球大会

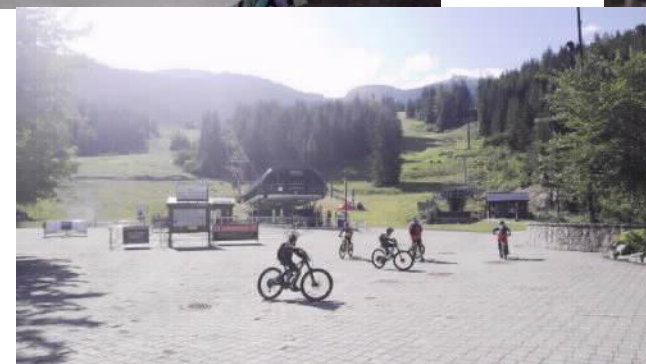


6-4 スポーツツーリズムの更なる推進

・ユーザーニーズに応えた 新たなスポーツ・アク ティビティの充実

(例)

- レールバイク(4人乗り電動アシスト付き鉄道自転車)の導入
- eバイク(電動自転車)コースの設置
- トレッキングコースの見直し
- スケートボードパークの設置
- エコツーリズムの創成



6-5 インフォメーションの充実

- 入手しやすい、パンフレット設置場所の再検討
 - 駅休憩所の利用など
- ユーザー目線の地図
インバウンド目線の広域マップの製作
 - 日本全体、長野県位置もわかる地図は必要
- 広域で魅力を発信できる、軽井沢駅の観光案内所の見直し
 - 駅の導線を意識した、新幹線最終列車到着(23:23)まで対応可能な観光案内所が求められている。
 - 広域観光に対応出来るパンフレットの設置

6-6 プロモーション(その1)

- 台湾・香港は、次のステージに進む。バックグラウンドやテーマが共通してる都市との交流連携を通じて誘客に活かす
 - 台湾・三義郷とは2018年6月に文化教育観光連携締結(ツーウェイツーリズムへ発展)
 - 香港EGL社との連携
- タイは、レンタカーを活用した誘致を継続していく
- 欧米での知名度が無い中で、姉妹都市のウィスラーをスタートとし、長野県内の姉妹都市友好周年年度の年のプロモーションを視野に入れ検討

6-7 プロモーション(その2)

- 北米西海岸（LA, サンディエゴ）とヨーロッパは直行便就航地域を中心に誘客していく
 - JNTO L.A.に県職員が2019年10月着任。この2年間で有効に活用していく
 - JALはシアトル⇄成田便を就航。シアトルを軸にすることで、バンクーバー、ウィスラー、サンフランシスコ、ロサンゼルス、サンディエゴなどに行きやすく（そこから来やすい）、誘致しやすい
- オーストラリア、ニュージーランドからの誘致の更なる推進



6-8 広域連携を基にした海外先進地視察

• 海外先進地視察

- 地方創生成功事例・レールバイクによる廃線活用（三義郷）
- キャッシュレス＋IT先進について（エストニア）
- 2拠点生活＋ワークライフバランス＋自然保護について（フィンランド）
- ビジネスライセンスについて（カーメル）
- 会議都市＋車両乗り入れ制限について（ダボス、ツェルマツト）

6-9 外国人延宿泊者数目標数値

年	アジア	北米	欧州	オセアニア	その他	合計
H29	144,633	1,856	829	1,083	28,654	177,055



年	アジア	北米	欧州	オセアニア	その他	合計
R 5	200,000	20,000	10,000	10,000	60,000	300,000

6-10 その他

- 情報発信の強化
 - 海外版ホームページの活用
- 災害時対応の充実
 - 軽井沢滞在中の外国人に対応可能な避難所の設置（観光振興センター利用）
- 医療体制の充実
 - テクノロジー等を利用した多言語対応・翻訳アプリの活用

7. インバウンド推進の効果

- 事業のインバウンドマーケティングを取入れた新たな事業展開
 - 全ての事業体に当てはまる経済継続のヒント
- 気づかなかった新たな魅力の発見
- 通年営業につながる
 - 課題となっている冬営業店の増加
- 働く場所の確保
 - 通年営業店増加で、働く場所ができる
- 教育に活用
 - 他文化に触れる、他言語に触れる
- 世界平和に寄与
- 国際親善文化観光都市の住民の誇り